

なんだ・かんだ

◆ 国の将来は教育にあり ◆

先日の日経新聞に、日中韓で2000人の学生に勉強時間についてのアンケート調査した結果が出ていました。それによると、学校での授業に宿題や塾を合わせた1日の平均勉強時間は

	日本	韓国	中国
中学生	8.0時間	9.8時間	14.0時間
高校生	7.6時間	11.0時間	12.9時間

といずれも中国・韓国は日本より大幅に長かったと言うことです。加えて、1日の勉強時間が中国の6割を超えて日本の高校生の8割が学校の勉強を「きつい」と考えていると言うことです。調査した「日本青少年研究所」では「日本の子供は学習習慣が身に付かないまま勉強嫌いになっている恐れがある」と懸念していると結ばれておりました。

私の家でも長男が高校一年生ですが、学校から帰ってくると、直ぐ「疲れた」を連発し、休みの日曜日などは放っておくいつまで寝ているか分からない程です。

思うに、中国は、都会では裕福な家庭とそうでない家庭とが混在し、農村部では沿岸部との貧富の差が問題になっております。また、有名大学を出ても就職出来ない様な状態で、子供達は目の前の富裕層の生活を見ながら、少しでも良い学歴を身につけ自分の将来をより良いモノにしていくことを考えているのではないのでしょうか。また、親も一人子政策で少ない子供に対し、父母とお互いの祖父母の6人で子供に期待を掛けているわけです。

また、韓国の親は非常に教育熱心で子供が小さい頃から勉強をさせており、中には、親も一緒に語学留学をすることが一種のブームになっている様なことも聞きます。また、大学受験は日本以上に厳しく、親ばかりでなく、進学に対する過当競争で学校も子供達に勉強を強いていると言います。

こんな各国の事情により、子供達の勉強に対する姿勢が違ってくるのだと思いますが、国が富むためには、国民の教育水準が大変影響します。ただでさえも日本の子供達の学力低下が言われている中、日本の将来場危ぶまれます。

他人から強いられる勉強に疲れている日本の子供達の中で、自分で将来を考えて勉強をしている子供はどの程度いるのでしょうか？目的意識を持った中国の子供達と、ここで既に大きく差がついているのではないのでしょうか。韓国でも日本同様大学に受かってしまうと、学生達は遊びほうけてしまうようです。そういった意味では中国の子供の中で、貧困を抜け出すために必死に勉強している子供は別であると思います。

漢字を読めない大人が総理大臣になり、大事の前に酒を飲んで泥酔状態で事に向かうような常識のない財務大臣がいるような無教養な国は、今一度、この教育という国が最も力を入れていかなければならない政策について、考え直さなければならぬのではないのでしょうか。



もうすぐ春がやってきます

太陰暦を使用していた時代に、季節を現すための工夫として考え出され、1年を二十四等分にし、その区切りに名前をつけたもので、「大寒」「立春」等現在でも季節の節目節目に、これを示す言葉として使われています。二十四節気と言ったものがあります。

先週の2月19日は雨水(うすい)雪が解けて雨になる頃という意味です。また、来週の3月6日は「啓蟄(けいちつ)冬眠をしていた虫が穴から出てくる頃」という意味です。実際に虫が活動を始めるのはもう少し先になるようですが、春の訪れは確実に近づいております。

一方、景気の春はまだ先になりそうですが、中国春節の好調。インド経済の底堅さ。更には低迷を極める国内でもトヨタが5月に在庫調整を終え増産に転じる等。暗いニュースの中にも先行きが見えそうな話題もちらほら出ております。今回の冬はとてもしんどいですが、春が訪れない冬はありません。必ず暖かな春はやってきます。その時までなんとか頑張ります。

代表取締役 服部 徹一郎

お取引会社紹介

● トライプランニング ●

社員紹介も一巡し、今月から、お取引様のご紹介をさせていただきます。今回は、当社のマーケティングのコンサルタントのご紹介です。

はじめまして、株式会社トライプランニング代表の丸山修希と申します。私は今、チキリさんへ営業全般のコンサルタントとして毎月1回お伺いしています。年齢は服部社長と一緒にです。チキリさんが手がけている営業施策を陰でサポートしているのは実は私なのです(笑)。分かりやすい事例でいいますと、この「契り通信」の発行も私のアドバイスから始まりました。「契り通信」も3年を経過し、内容が充実しているといつも感じています。発行は大変ですが、お客様への情報発信ツールとしてとても良いのではないのでしょうか。

さて、私も沢山の会社の経営者や営業部門の方とお付き合いしておりますが、服部社長のように、良いと思ったことをすぐに実行する会社は、例外なく業績が上がってきています。

服部社長とは同世代で、価値観も近いものがあるため、会社の業績アップという目標に向かって様々な取り組みを一緒にしております。その中でも、新規開拓や、顧客のフォローアップに関しては、その重要性を服部社長が認識しますので、重点的に動いています。コンサルタントをしていていつも思うのは、経営者の悩みは、会社の規模や業種にかかわらず、販路拡大と人材の採用・活用の二つに集約されるということです。

売り上げの悩み・人の悩み、お困りのことがございましたら、まずはお相談下さい。多分お役に立てると思います。ちなみに下は28歳、上は70歳の経営者の会社のサポートをしています。



■ 一級建築施工管理技術検定試験合格!!! ■

昨年行われました、一級の建築施工管理技術検定におきまして、当社の大高茂紀が合格率22.4%の難関を突破し合格しました。6月に一次の筆記試験(合格率49.8%)、10月に二次の実地試験(合格率35%)と言う長丁場でしたが、現場をこなしながら、家では問題集片手に子供の世話をしながら勉強し、初めての挑戦で一発合格を納めました。(パチパチパチ)

当社では安全で確実な施工をするため、またものを販売するための基礎知識として社員の資格の取得を奨励し、社員も様々な資格に挑戦しています。

本レターのご提供につきまして、ご不要・ご迷惑という方に付しましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社 チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/